

第1回ルーマニアとの今後の交流のあり方を考える市民懇談会

平成17年12月15日(木)
武蔵野市役所 804 会議室

次 第

- 1 開会
- 2 委嘱状の交付
- 3 市長挨拶
- 4 委員自己紹介、事務局紹介
- 5 懇談会設置要綱等説明
- 6 委員長の互選と副委員長の指名
- 7 ルーマニアとの交流の経緯、日本武蔵野センター活動状況説明
- 8 質疑
- 9 今後の進め方
会議の公開
市民意見の聴取方法
今後の日程
- 10 事務局からの事務連絡
- 11 閉会

平成 17 年 12 月 15 日

第 1 回ルーマニア市民懇談会

日本武蔵野センター活動状況

		内 容	参加者等
1	日本語教室	初級クラス(3)、継続初級クラス(3)、中級クラス(1)、 上級クラス(2)、漢字クラスを設置。 週1回、2時間。平日の午後・夜間に開講。	初級クラス 定員 20~30人。 他クラス 定員 5~10人。 約 100人が受講。
2	図書館利用	図書、音響、映像など約 1300 点所蔵。 館内での閲覧、貸し出しサービスを実施。	毎月 200~250 人の利用あり。
3	カルチャー・クラス	書道クラス(初級・中級、週1回)、漫画クラス(2クラス、 週1回)、切り絵クラス、絵手紙クラス、着物着付けクラス(年 2回)、茶の湯クラス(月2回)など。	各クラス 5~10人。
4	イベント	ひな祭り、七夕など季節のイベントを実施。	各回 50人程度
5	ブラショフ市の事業への参加	「ブラショフ・デー」や「Book & Music フェア」等のイベ ントに合わせ、着物ショーや写真展、書籍などの展示、日本 文化紹介イベントを実施。	
6	ブカレスト大学との協働 地域活動	ブカレスト大学での書道指導、ブカレスト大学からの茶道講 師受入。地域のホスピス訪問など。	
7	日本に関する情報提供	日本および武蔵野市に関する情報、日本の奨学金情報などを 提供。	
8	広報活動	テレビ、ラジオ等に出演してセンターをPR。 ホームページ作成(日、英、ル) http://www.musashino.ro/	
9	ITセンター	ブラショフ市が主催し、パソコン教室を開催。	年3コース程度 各コース 10人×20回

第1回ルーマニアとの今後の交流のあり方を考える市民懇談会 会議要録

日 時：平成17年12月15日（木） 午後7時～8時30分

場 所：武蔵野市役所8階 804会議室

出席者：石光委員・大隅委員・河北委員・竹島委員・原委員・平井委員・

横尾委員・頼委員（五十音順）

邑上守正武蔵野市長・事務局3名

計12名

1 開会

2 委嘱状交付

3 市長挨拶

【邑上市長】これまで本市は、ルーマニア国ブラショフ市と交流を続けてきた経緯がある。私自身はいろいろなまちづくりへの協力を仕事にしてきたので、勉強のためヨーロッパにも数回行っているが、ルーマニアには行ったことがない。今回の懇談会では、これまでの交流の評価をしてもらい、今後どのような交流のあり方が可能なのか、ざっくばらんに議論し提案をしていただきたい。その提案を基に今後の交流の進め方を検討していき、市民相互の交流に発展させていきたい。今までの経験をどう活かすのか、期間が短いですが集中的に議論し、まとめてもらいたい。

4 委員自己紹介・事務局紹介

5 懇談会設置要綱等説明

<懇談会設置要綱説明>

【事務局】なお、この会議では、何かを決定するというものではない。委員の意見が異なった場合には、それを無理にまとめて結論を出すわけではなく、あくまで両論併記のような形を考えている。また、予定としては、来年の2月上旬までにこれまでの交流の評価をし、3月上旬までに今後はどうするのか議論してもらい、3月末までに意見を集約し報告書としたい。

【委員】今回、ブラショフ市との交流に限って懇談会を行う理由はあるのか。

【事務局】前市長の頃から、市民が参加できる交流を考えたいという課題があった。アメリカ合衆国ラボック市、中国との交流に関しても同じ課題があるが、ルーマニア国ブラショフ市は、現地に日本武蔵野センターという施設も設置しているので、重点的に考える必要がある。

【委員】日本武蔵野センターはどのような組織なのか。

【事務局】現地で建物を借り上げ、本市が設置しているもので、具体的な運営は、本市から派遣された嘱託職員の所長・日本語教師と現地雇用の職員を中心にやっている。

【委員】日本武蔵野センターの設置は、本市とブラショフ市との共同設置ではなかったか。ブラショフ市と協力して設置したものと理解している。本市から派遣した職員の宿舎等は、ブラショフ市が提供している。

【委員】以前ブラショフ市に日本語教師として、派遣されたことがある。ルーマニアでの活動を本市市民に理解してもらいたかったが、なかなか広がらなかった。本市がいくらお金を出しているのか、また、そのお金を誰がどのように使用しているのかしっかり検証していく必要がある。また、現地での日本語教室に来る学生数の変化も知りたい。

【事務局】資料については、後日用意する。

6 委員長の互選と副委員長の指名について

【委員】交流に携わった方がいいのではないか。

【委員】横尾委員は広く活動をされている経験がある。横尾委員が適任ではないか。

<全委員一致で横尾委員に決定>

【委員長】私は交流に関わった団体の関係者であるので、副委員長は団体代表でない河北委員にお願いしたい。

7 ルーマニアとの交流の経緯、日本武蔵野センター活動状況説明

<資料説明>

8 質疑

【委員】資料中の日本語教室約100名受講とは延べ人数なのか。

【委員】以前、日本武蔵野センターの所長をしていたので、この質問には私から回答する。100名は学習者数である。日本語を学んでも就職には直結しないが、ルーマニア人は知的好奇心が非常に強く、いろいろな言語を学びたいという人は多い。この日本語教室はすべて無料にしており、そのメリットがある一方で、途中でやめる人が少なくないということがあった。受講者はほとんど大学生である。

【委員】図書室の本は日本のものか。

【委員】英語のものが多く、日本語のものもある。

【委員】HPはあるのか。また、アクセスした人の数がカウントできようになっているか。あれば全世界でどれほどの人々が見ているかわかる。

【委員】HPは作成してある。カウントできようにはなっていない。

【委員】ルーマニアから何人くらいの方が本市に来ているのか。

【委員】ビザの取得が非常に難しいため、ルーマニア人が外国に旅行するのは非常に困難だ。

【事務局】本市には3名在住している。その他、多摩地域には多くの大学があるので、留学生等は大勢いるのではないか。

【委員】特定の国との交流について、今までこうした懇談会はあったか。

【事務局】ない。今回が初めてだ。

【事務局】希望する資料等があれば準備したいので、12月22日までに連絡してほしい。

【委員】日本にいるルーマニア人同士の集まりがあるかどうか。

【委員】ルーマニアとの交流の経費、現地でどのくらい使っているのか。また、日本語教室の学習者数の推移について知りたい。

【委員】ルーマニアの経済状況についての資料がほしい。

【委員】ルーマニアの交流関係などの写真を準備してほしい。

9 今後の進め方

【事務局】会議の公開について、基本的に公開としたい。HPでもどんな内容であったのか公開したい。また、市民意見の聴取方法であるが、HP・市報にて意見募集をし、いただいた意見は会議で報告し、委員のコメントをつけて、それをHPで公開したいかがか。

【委員】会議公開について、傍聴者の発言権はあるのか。

【事務局】委員から傍聴者の意見を聞くこともできるが、基本的には、傍聴のみとしたい。

【委員長】それでは第1回懇談会を終了する。次回は1月17日(火)、第3回目は1月31日(火)に午後7時から8時30分の日程で行いたい。